



夢と笑顔あふれるまちを目指して

皆野町長 石木戸 道也

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から町政進展のため、ご指導ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、オリンピック・パラリンピック開催の年として、輝かしいスタートを切りました。

しかしながら、1月に中国の武漢で確認された新型コロナウイルス感染症が、瞬く間に全世界に広まり、日本も甚大な被害に見舞われております。当町においては、7月に感染の1例目報告されましたが、幸い大きな感染拡大には至っておりません。

これもひとえに、日々、自らの感染リスクを顧みず、治療・看護に奮闘されている医療従事者の皆様、また、感染防止のため冷静な行動に努めていただいている町民の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

町では、町民の皆様を守るため、町独自の支援策として、「みなな応援パッケージ」を編成いたしました。令和2年度の給食費無償化や高校生までを対象とした子育て応援給付金、全事業所を対象とした感染防止対策奨励金、みななプレミアム商品券の発行などを実施しております。

また、ウィズコロナ、新しい生活様式への対応として、キャッシュレス決済

の促進や、小・中学校におけるオンライン学習環境の整備のほか、避難者の分散による感染防止等を目的に、各地域の公会堂を避難所として活用するための整備を進めております。今後も、状況把握に努め、未曾有の困難に迅速かつ適切に対応できるよう取り組んでまいります。

さて、日々のニュースがコロナ一色に染まる中、明るい話題もありました。7月に、金子兜太氏ゆかりの旧壺春堂醫院主屋・土蔵が登録有形文化財として答申されました。文化的・観光的資源として大いに期待しております。11月には、交通死亡事故ゼロ10年

を達成いたしました。今後も記録更新に向け、関係団体と連携し啓発活動に努めてまいります。また、3月には日野沢地区に、マレットゴルフ場が完成いたします。健康増進、ふれあいの場として、積極的にご活用いただきたいと思います。

今後も、町の将来像である「住んでみたいまち・住み続けたいまち」ときめきの皆野の実現に向け、議会とよく連携し、誠心誠意取り組んでまいります。本年も、町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

賀正



新生活様式とこれからの町づくり

皆野町議会議長 若林 光雄

明けましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、町議会を代表して新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこと、心からお慶び申し上げます。皆様には、町政発展のため日頃から多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が様々なものに及び、流行語大賞も「3密」となり、今後に渡る生活様式の変更を余儀なくされております。

代表的なものとしては、東京オリンピック2020の延期を始め、町で

は秩父音頭まつりの次年度延期など、次々と催し・集会が中止、延期され、人々の繋がりが、絆にも悪影響を及ぼすのではないかと心配しております。皆野町では新型コロナウイルス感染症に対する「みなな応援パッケージ」を第1弾、第2弾と打ち出して、皆様の生活を守っていくことに注力して参る所存です。

災害においては「命を守る行動」を第一に、とよく言われますが、コロナ禍においては「生活を守る行動」も大切です。

「新しい生活様式」を受け止め、励行しながら、公の補助金・交付金などを活用し、無料相談等も利用しながら、

私たちの生活を守っていきましょう。皆野町においても、新型コロナウイルス感染症の陽性者の事例があります。誰かのことでない。自分たちの身近に起こりうる問題だと気がつかされた気がしました。幸い、感染拡大には至らなかつたものの、今後第2波、3波と懸念される事態に変わりはありません。「今までに無かつた」

事象が多々起きており、それが当然のものになりつつあります。「もしも」の想像力を働かせながら、行動に移していかなければならない、改めてそんな風に感じているところです。

そんなコロナ禍においての、皆様の「声」を聞かせて頂きたい、そんな

な思いをも新たにしました。「町民に開かれた議会」をめざし、議会活動をより身近に、更に深く理解していただけるよう「議会だより」を発行しております。ぜひ、色んなご意見をお寄せ下さい。

これからも「住んでみたいまち住み続けたいまち」ときめきの皆野を目指し、町と議会は連携を深めながら最善の努力をしてまいります。存でございます。

本年も町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。